

日付:2014年12月21日／聖書:ルカによる福音書2:11～20

主題:「あなたがたへのしるし」

天使は羊飼いたちに告げます、「あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである」と。救い主が「飼葉桶の中に寝ている」とはどういう事でしょうか。「飼葉桶」とは家畜が食べるための餌箱です。本来なら人間が寝かされる場所ではありません。でも何故、キリストは飼葉桶の中に寝かされたのでしょうか。

それは皇帝が全領土の人口調査をせよとの命令を出したからでした。この人口調査には、大きく二つの理由がありました。一つは身元調査。誰がどこ出身でどういう人かを知るためです。当時ローマ帝国に対し、反乱を起こす者が後を絶たなかったでそのような者を捕まえやすくするためでした。もう一つは、税金を集めるための台帳作りです。住民の人口を一人残らず数え上げ一人も漏らさず税金を巻き上げるためだったのです。即ちこの人口調査は、国家のため、皇帝のための政策であったわけです。現在の国家政策と何も変わっていないことが分かります。「秘密保護法」「消費税増税」のことがすぐに思い浮かぶのは私だけではないでしょう。

この旅は身重のマリアにとって辛かったはずですが、きっとその他にも、お年寄りや幼い子どもたち、病人や障がいのある人たちも足を引かずながらの旅であったかと思えます。国家の政策はいつの時代も弱者を苦しめているようです。その苦難の時代にキリストは誕生しますが、天使の言う「あなたがたへのしるし」とは何を意味するのでしょうか。

それは国家政策のゆえに追いやられた苦難の場所「飼葉桶の中に」キリストは居られるということ。そしてそれは、同じく国家政策のゆえに追いやられた「普天間」「辺野古」「高江」等にキリストは居られるということに繋がるのです。天使の言う「あなたがたへのしるし」が私にとってどこなのか。その「しるし」に向き合う者でありたいものです。(神谷)